

# 朝の読書の取り組みを通して

< 高等学校 >

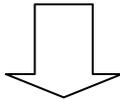
- 目的** 充実した高校生活をおくるうえで、本を読むことの意味を考えさせ、読書を習慣化させる。
- 読書により、自分の生き方やあり方を考えさせる。
- 朝の読書から1日の生活リズムをつくり、生活習慣の定着を図る。

## 気づく

### アンケートをもとに、充実した高校生活について考える

アンケート結果をもとに、どうすれば自分たちの高校生活がより豊かなものになるのか考えさせる。

「有意義な高校生活を送るため」あるいは、「自分の将来を見つめ生き方について考える」等のテーマでアンケートを実施する。

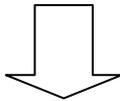


## 広げる深める

### 「朝の読書は脳を活性化させる」

大半の生徒に読書習慣がない。本を読むことの意味を考えさせる時間を持つ。短時間だが、一斉に読書することで、本の世界に入るきっかけが生まれる。朝のスタートとして自発的に本を読むことは、脳を活性化する上でも効果がある。

朝の読書の効果を説いた本などを紹介する。読書を通して、人の生き方について考えたり、世界観を豊かにすることの意義を説明し、実施する。

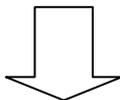


## 計画する

### 全校一斉 毎日8分間の朝の読書を計画する

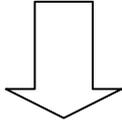
「みんなで読む(教師も読む)」「毎日読む」「好きな本でよい(漫画、雑誌はのぞく)」「ただ読むだけ」の4原則を基本に計画する

図書館オリエンテーション  
図書館だより  
図書委員会の諸活動と連携



実践する

## 全校生徒と教職員が読書を実践する



振り返る

## 定期的に、読んだ本の紹介や感想を発表し合う

年2回、全校生徒に学習や生活と朝の読書とのかかわりについてアンケートを実施し、その成果を図書館便り等で報告する。  
読んだ本の中で、興味を持ったある人物の生き方について探求する。  
読んだ本からレポートを作成し、クラスで発表する。「読み、書き、話す」取り組みの中で、コミュニケーション力を培う。

グループで、最近読んだ本の紹介をし合う。  
お薦めの本について、3分間スピーチをする。



### 【学習を進めるにあたって】

- ・ 日常的な学習や生活習慣を形成するための取り組みは、学校全体で一斉に取り組む必要がある。生徒の興味や関心を大切にし、自主的に読めるようになるまで、動機づけを重視する。
- ・ 生活の中に読書習慣を作ることで、「話す力」「聴く力」「書く力」を育てることにもつながり、コミュニケーション能力を高めることにもなる。仲間づくりを進める上でも成果が得られる。
- ・ 読書を通して、他者に思いをはせる想像力や多様な感情に共感する力も育まれる。